

最優秀賞

三原市「広報みはら」(令和6年10月号)



■発行部数(年間発行回数): 32,000部(12回)

■担当課: 広報戦略課

■連絡先: 0848-67-6007

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

本号では、35年間の歴史に幕を下ろした「佐木島トライアスロン」をメイン特集としました。この大会は市の離島・佐木島で開催されるトライアスロン大会で、初開催の平成2年から島民のボランティアによる手作りの大会としてアスリートから人気でした。しかし、ボランティアの高齢化などを理由に、令和6年の第33回の大会を以って、惜しまれつつも終了することとなりました。紙面では、これまで島民が手作りで運営し、アスリートたちがを温かく迎えて来た姿、選手達の臨場感あふれる写真とともに大会の歴史を振り返ります。

ページをさくことが出来ない分、写真の配置や文章を工夫してコンパクトにまとめることで、サクサクと読んでいただくことができる、間延びしない紙面に仕上げました。

＝講評＝

○歴史あるトライアスロンが終わる特集は大変見応えあるし、広報誌として市民に「伝えたい」と言うメッセージを感じることが出来ていた。

○よく工夫されていて、大会の躍動感や当日の熱気、地域のみなさんの力が伝わってくる。全体を通して、カラーなので読みやすく、イラストやレイアウトなどの工夫もあり若い人にも手に取りやすく感じた。

○レイアウトやデザイン、イラストなどよく吟味している印象。紙面づくりの担当者が楽しんで作っているように感じる。

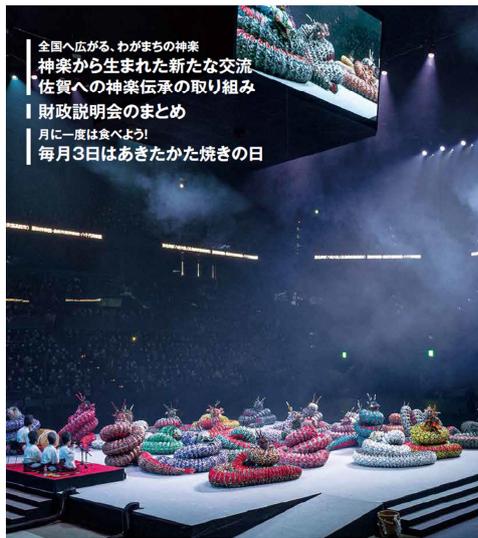
○要点がまとまっており、長い文章読まない世代にとっても読みやすい。4ページをすごく見応えがあるものにしてた。

優秀賞

安芸高田市「広報あきたかた」(令和6年1月号)

あきたかた 1

News from Akitakata City



全国へ広がる、わがまちの神楽
神楽から生まれた新たな交流
佐賀への神楽伝承の取り組み
財政説明会のまとめ
月に一度は食べよう!
毎月3日はあきたかた焼きの日



- 発行部数(年間発行回数): 12,150部(12回)
- 担当課: 秘書広報課
- 連絡先: 082-642-5627

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

特集は、全国に広がりを作り出している安芸高田神楽について取り上げた。中でも佐賀県への神楽伝承の取り組みについて深掘りし、佐賀県へ神楽が伝播した物語を紙面で表現。表紙には佐賀県で行われた伝承芸能祭での神楽上演時の写真を採用し、神楽をメインとする紙面構成であることを印象付けた。また、新名物として推進するご当地グルメ「あきたかた焼き」の認証店舗の紹介と、あきたかた焼きの日の制定を周知し、積極的利用を促した。

＝講評＝

- 安芸高田神楽の現状を知る良い企画だと思う。地域を飛び出て県外でも地域の誇れる神楽が活躍する姿は市民でもなかなか知れないことだと思うから。
- 佐賀神楽を通じて、安芸高田の神楽の魅力を伝える切り口が斬新で良い。
- 毎年読むのが楽しみになるくらい、明るいレイアウトで若い人にも読みやすく、他市町村のお手本になると思う。
- 関係者の方々のお話もうまくまとめられて読みやすかった。